

商品名 サンリズムカプセル50mg 医薬品基本情報

薬効	2129 その他の不整脈用剤	一般名	ピルシカイニド塩酸塩水和物カプセル
英名	Sunrythm	剤型	カプセル
薬価	35.20	規格	50mg 1カプセル
メーカー	第一三共	毒劇区分	(劇)

サンリズムカプセル50mgの効能・効果

頻脈性不整脈

サンリズムカプセル50mgの使用制限等

1. うっ血性心不全、高度洞房ブロック、高度房室ブロック	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心筋梗塞発症後の無症候性あるいは軽度の症状	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 透析を必要とする腎不全	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
4. Brugada症候群、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、基礎心疾患、基礎心疾患があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋梗塞があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋症があり心不全又はその恐れ・疑い、弁膜症があり心不全又はその恐れ・疑い、心不全の既往、脚ブロック、刺激伝導障害<高度房室ブロック・高度洞房ブロックを除く>、洞房ブロック<高度洞房ブロックを除く>、房室ブロック<高度房室ブロックを除く>、著明な洞性徐脈、血清カリウム低下、抗不整脈薬併用中、一時的ペースメーカ使用中、恒久的ペースメーカ使用中、腎機能障害、透析を必要とする腎不全、重篤な肝機能障害、心筋梗塞発症後の軽度の症状を伴う心室性期外収縮、心筋梗塞発症後の無症候性心室性期外収縮	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

サンリズムカプセル50mgの副作用等

1. 心室細動、心室頻拍、Torsade de pointes、洞停止、完全房室ブロック、失神、心不全、ショック、心停止	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. ショック、急性腎障害、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、肝機能障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 胸痛、徐脈、心房粗動、血圧低下、便秘、食欲不振、振戦、不眠、しびれ、白血球数減少、血小板数減少、過敏症、そう痒感、BUN上昇、クレアチニン上昇、尿蛋白陽性、排尿困難、熱感	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. QRS幅増大、QT延長、房室ブロック、洞房ブロック、胸部不快感、動悸、心室性期外収縮、上室性期外収縮、心房細動、上室性頻拍、胃痛、悪心、嘔吐、口渇、下痢、腹部不快感、めまい、頭痛、眠気、好酸球増加、リンパ球減少、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、発疹、蕁麻疹、全身倦怠感、CK上昇、脱力感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. PQ延長、QRS幅増大、QT延長、徐脈、血圧低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. 心室頻拍、心室細動	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 異常	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 心電図変化顕在化、右脚ブロック顕在化、右側胸部誘導＜V1～V3＞のST上昇顕在化、心室細動、心室頻拍、心室性期外収縮、催不整脈作用、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、刺激伝導障害、著明なQRS幅増大、心停止、心不全、Torsade de pointes、洞停止、徐脈、ショック、失神、血圧低下、循環器障害、構語障害、精神・神経障害、死亡率が有意に増加	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

サンリズムカプセル50mgの相互作用

1. 薬剤名等：抗不整脈薬併用中	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
2. 薬剤名等：リファンピシン	発現事象	本剤の作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	リファンピシンによりチトクロームP450の産生が誘導され、本剤の代謝速度が促進し、血中濃度が低下	指示	注意
3. 薬剤名等：カルシウム拮抗薬	発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	作用増強	指示	注意
4. 薬剤名等： β -受容体遮断薬				

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	作用増強	指示	注意

5. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	作用増強	指示	注意

6. 薬剤名等：硝酸・亜硝酸エステル系薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	作用増強	指示	注意

7. 薬剤名等：セチリジン

発現事象	両剤の血中濃度が上昇し本剤の副作用が発現	投与条件	-
理由・原因	腎でのトランスポーターを介した排泄が競合	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』